

## 子どもたちの居場所と健康教育への取組みは

星野 靖江 議員



**【問】** 放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体型の考えは。

**【教育部長】** 放課後児童の安全・安心な居場所として、放課後児童クラブは各児童館。子ども教室は来年度春木台小の開設が予定され、町内全小学校の開設により、当面は現体制で運営する。

**【問】** 学校保健全般を担う養護教諭の現況は。

**【教育部長】** 多岐にわたり複雑化しているが、保健指導や各種相談をしている。

**【問】** 薬物乱用防止教育は

**【教育部長】** 保護司会や警察の協力を得て、中学校で実施。又、PTA主催の教育講演会を開催しているが今後継続する。

**【問】** 養護教諭の現場は多忙と考えるが増員計画は

**【教育部長】** 必要性は認識しているが今は難しい。

**【問】** 「みんな育てあう地域に根差した保育の推進と今後の課題は。

**【福祉部長】** 地域ふれあい

交流事業で地域の方々との交流を図っている。今後地域との関わりを大切に保育を行いたい。

### 災害に強いまちと災害情報発信への取組みは

**【総務部長】** 近隣市町と地域の災害・防災情報伝達プログラムの開設や9月から県の土砂災害警戒情報エリアとなった。また、町内介護施設と災害時介護協定を締結した。

**【問】** 町の災害記録は。

**【総務部長】** 過去の災害状況は伊勢湾台風や東海豪雨等、地域防災計画に掲載し、災害対策に役立つよう心掛けている。



放課後児童クラブのとある日

## 自治基本条例の一層の実効性を「自分たちの責任で決め、行う」私たちのまちづくり

水川 淳 議員



**【問】** 条例の全町民への認知浸透は究極の目標。転入者や年代別など個別PRの方法は。

**【企画部長】** 職員の中にあるいろいろなアイデアがある勉強会を通じて具体的に進めていきたい。

**【問】** 自治区や町民活動に対して町民の責務が掲げられており、議会報告会などでも実効性を求める声がある。見解は。

**【企画部長】** 地域活動は、町民一人一人が地縁団体の役割や存在価値を認めるようになれば自主的に企画・協力しやすくなるだろう。そのためには手軽に活動を知ることができる情報発信と、気軽につながるのを感じられる窓口の開放が重要。

**【問】** 「まちづくり委員会委員の現況と今後は。

**【企画部長】** 条例制定で委員会自体は終了したが、有志でパンフ作成や文化産業祭りでのPR活動を継続している。今後も、とりわけ若い人たちが参

加しやすい企画を考え、自分たちでまちづくりを考える新たな活動が生まれることを考えたい。

### 青少年健全育成について

**【問】** NPO公募提案型事業のテーマに青少年健全育成を追加できないか。

**【教育部長】** 青少年健全育成は幅が広く、今までテーマに入れていなかったが、今後はメニューに入れていきたい。

**【生活部長】** 27年度は早めに準備し、多くの団体に興味を持ってもらえるよう働きかけていきたい。



自治基本条例パンフレット。ご覧になりましたか？

# 川瀬町長のまち創りについて



山田 達郎 議員

**【問】**川瀬町長のマニユフ エストを早い段階で町長はじめ東郷町職員、関係者の力を合わせスムーズに早く実現し、さらには川瀬町長以外の候補者に投票した方は合計8747票あります。川瀬町長のマニユフエストを実現した後、他の候補者のマニユフエストも研究しなければならぬと思います、マニユフエストにある街灯と防犯灯LED化についての対応は。

**【町長】**防犯灯のLED化を取り巻く状況は、導入に関して追い風となり、電気料金や維持管理に係る人件費の削減、二酸化炭素排出量の削減の効果は明らかであります。また、区長さんや自治会長さんにお願しております。防犯灯の修繕箇所報告がほとんどなくなり、負担軽減にもつながります。防犯灯のLED化はできるだけ早く実現したいと思っております、そのために平成27年

<p><b>1 まちの目玉(中心核)を創る</b></p> <p>センター開発はまちの目玉です。中心核をつくって豊かな町を次の世代に引き継いでいくことが、私たちの務めです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・19から20で2000人以上の雇用創出</li> <li>・1/3スターミナルを設営して高齢社会対応</li> <li>・施設で町勢振興を強化</li> <li>・道のせりふ事業で全国に誇れるまち</li> <li>・高齢者への生活の利便性を高め、まちを元気にする</li> <li>・駅前コブヤシの創設</li> <li>・スマートシティ</li> </ul>	<p><b>3 豊かな心と生きる力を持つ人づくり</b></p> <p>本町はすでに子育て支援NO.1を目指し「10歳まで子どもと高齢者無料利用」や「育児・介護・医療費負担軽減」など一歩先んじている施策を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園計画に向けた保育所の整備と環境の強化</li> <li>・学校施設主要部のバリアフリー、学校周辺の整備</li> <li>・教育費の一部公費負担、児童クラブの充実</li> <li>・学校への不安、不安の解消と保護者の安心</li> <li>・地域福祉を推進し、2025年以降のまちづくり</li> <li>・人、社会のために役立つ人材育成を促進</li> </ul>	<p><b>5 環境に優しく、安全・安心な町を創る</b></p> <p>自然環境に恵まれていて「緑の資金」と「緑のまちづくり」の推進、そして防災・防犯にも強い「安全で安心なまちづくり」を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道と町道のLED化、交通安全の改善</li> <li>・町道の改善計画策定</li> <li>・全体的な防災対策</li> <li>・公共施設の防災対策</li> <li>・環境的防災対策</li> <li>・防災訓練の充実と参加の促進</li> <li>・防災訓練で「防災」の意識を高める</li> <li>・防災訓練で「防災」の意識を高める</li> </ul>
<p><b>2 健康で元気な町を創る</b></p> <p>子どもたちの遊びの場が少なくなった。運動不足の解消と体力作り。そして高齢者にやさしいまちづくりの取り組みが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康とまちづくりの推進</li> <li>・高齢者の健康と体力作り</li> <li>・高齢者の健康と体力作り</li> <li>・高齢者の健康と体力作り</li> </ul>	<p><b>4 男女共同参画社会と活躍の場を創る</b></p> <p>子育て世代の働きやすさを確保する施策です。その中でも重要なのは女性の参画です。女性の働きやすい環境をつくれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業の取得率の向上</li> <li>・男性も活用しやすい育児休業</li> <li>・産後復帰支援の推進</li> <li>・多岐にわたる子育て支援の推進</li> </ul>	<p><b>6 産業を活性化して雇用を創る</b></p> <p>商工業の活性化と創発的な企業誘致で働く場をつくれます。そして、流入人口を減らし、地域中心のまちづくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致を促進</li> <li>・企業誘致の促進</li> <li>・企業誘致の促進</li> <li>・企業誘致の促進</li> </ul>

川瀬まさきの6つの柱

度に整備する防犯灯を確定するための調査を実施し、その後、整備をしたいと考えています。

**【問】**センター開発は勿論のこと、企業誘致もしっかりとお願いをしたい。

現在の企業誘致で3000㎡以上であり、100坪や200坪の倉庫を建てたい、工場が手狭になって300坪くらいの工場を建てたいが東郷町にないので他市を検討しているという方の相談があります。

# 教育環境の充実について



小島 三幸 議員

**【問】**豊かな大人の人材の育成を行うには行政はどうするか。

**【教育部長】**生涯学習教育に参加することが最適である。その中でTOGO大学講座に参加されることとお勧めである。

**【問】**TOGO大学講座内容とは。

**【教育部長】**講座は年五回の開催を予定しており現代社会が抱える様々な課題を、各界を代表するエキスパートの先生方が解説し、未来を展望する、中身の濃い生涯学習である。一回の講座の定員は50名で、受講料は五百円である。

**【問】**講師の選定基準は。

**【教育部長】**予算との相談になるが、社会教育委員会の委員の皆様のご意見を頂き、生涯学習課が企画・選定を行っている。

**【問】**東郷町立図書館の特色とは。

**【教育部長】**本町の町立図書館は、町民会館の三階にあり、蔵書数はスパー



東郷町立図書館

スの関係で限りあるが特色として、館長さん始め司書さんの対応が親切でアットホームな雰囲気図書館である。また、絵本、読み聞かせコーナー等、子供向けスペースが比較的広いことが特色と言える。

**【問】**選書のアドバイスは。

**【教育部長】**利用者の方からの選書についての相談は司書の対応でスムーズに行われている状況である。今後はネットによる検索システムも導入予定である。

# 経済的な困難がある家庭で育つ子どものための就学援助 東郷町は他自治体と比べて受けにくいのでは

門原 武志 議員



【問】就学援助の基準について名古屋市等は生活保護基準を用いているが東郷町の状況の説明を。

【教育部長】国の「保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱」（要綱）に従っており、異なる。

【問】生活保護基準だと住宅扶助費が3.6万円なのに「要綱」だと8千円しか認められず、「要綱」には生活保護基準で認められる母子加算等もない。また名古屋市は遺児手当など各種手当を収入認定しない。そのため同じ収入でも東郷町では就学援助の対象になりにくい。改善すべきでは。

【教育部長】東郷町が特に悪いとは思わない。

## セントラル開発について

【問】大型商業施設の集客数・交通量の見込みは。  
【経済建設部長】土地区画整理組合が発足し事業者と正式契約した後を示し

たい。事業者が検討中と聞いている。町としては都市計画道路整備や交差点への右折帯設置などで対応する。

【問】豪雨災害への対応は。  
【経済建設部長】3か所の調整池で30年に一度の間80mmの雨量に対応できる。開発区域からの雨水流出は増えない。

## 巡回バスの増便を

【問】少なくとも1時間1便にできないか。昼休み時間帯も運行できないか  
【生活部長】財政的に難しい意見を頂きたい。他にも外出困難者の郵送投票等を取り上げた。

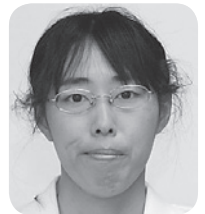


名古屋市は就学援助の対象者について詳しく説明している（名古屋市ホームページより）

# 一般質問

# 子育てしやすい町になるよう保育の充実を

前田 沙織 議員



【問】隠れ待機児童への対策は。

【福祉部長】まず役場で入園相談をしてほしい。今後、中部保育園の改修等で待機の解消を図る。

【問】年度途中の入園希望で緊急事態は優先するか  
【福祉部長】抽選会以後の申込は先着順。

【問】一時保育の拡充を。  
【福祉部長】今年度策定の子育て支援計画の中で考え方を示していく。

【問】病児保育の町内実施の考えは。  
【福祉部長】難しい。

## 介護保険制度の改変

【問】要支援者へのサービス提供はどうなるのか。  
【福祉部長】訪問介護と通所介護の生活支援は総合事業に移行される。平成29年4月迄に開始予定。人材育成と確保、場所やサービスの準備をする。

【問】分かりやすい周知を  
【福祉部長】広報で特集し周知する。

## 小中学校へのエアコン設置

【問】一度に無理なら少しずつするなど検討を。

【教育部長】防音対策にもなる音楽室からしたい。普通教室は考えてない。

## 公共施設のバリアフリー

【問】公共施設の洋式トイレとオムツ交換台の設置追加についての考えは。  
【総務部長】旧庁舎1階を今年度洋式化する。オムツ交換台は需要を考慮し設置しているが今後研究したい。

【問】洋式トイレ・オムツ交換台の場所の表示を。  
【総務部長】研究したい。



一時保育室（東郷診療所2階）

# 県外視察研修

## 総務経済委員会

10月7日から8日までの2日間、26年度委員会県外視察を埼玉県三郷市（みさとし）で実施しました。

「新三郷（ららシティ）」では旧国鉄武蔵野操車場跡土地開発について、市役所まちづくり推進部からは主に区画整理などのまちづくりについての説明がありました。

### ■三郷市役所 まちづくり推進部

三郷市の人口は、増加傾向にあり、13万5千人のまちでした。面積は約30平方km。道交網や鉄道網に恵まれた市は、首都高速道や東京外環自動車道、常磐自動車道が交差する三郷ジャンクションやインターチェンジがあり、JR武蔵野線やつくばエクスプレスが通るなど、交通の要所となっています。

かつては、江戸川などの河川に囲まれた農村地帯で

したが、首都圏のベッタウンのまちとして発展していました。



ららシティー内の商業施設

### ■住みよい町として イメージアップ

三郷市は「ららシティー」など6か所の開発行為と3か所のまちづくりが進められています。

「三郷インター南部地区」

区画整理は、少子高齢化が進む中、物流施設のための区画整理として進められています。この地区に進出してきた施設と同様で、3,500人が働き、将来は5,000人の雇用が見込まれるそうです。「三郷中央地区」区画整理は、都心まで20分のつくばエクスプレス三郷中央駅を中心に施行され、入居者は主に20〜30歳代です。

特に「ららシティー」については、まちとしてのイメージアップにつながったことが強調されました。CMや広告で三郷市の名前が出てきて、「インターのまち」から「おしゃれでカッコいいまち」へとイメージが変化したことです。

これらの開発により年間28億円の税収が増えました。三郷市の一般会計予算は約400億円、うち市税は約190億円と見込まれています。担当者が「本開発は、税収増のためにするわけではなく、次世代も住み続ける「まち」にするための基盤整備」と語っていたのが、印象でした。



商業施設へ行政機関出店



まちづくり推進部の説明

# 常任委員会

## 文教民生委員会

平成26年7月15日から16日、平成26年度委員会県外行政視察を福井市と滋賀県湖南市で実施しました。

### ■福井市順化小学校

7月15日福井市立順化小学校を訪問し、学力・体力向上の取り組みについて研修しました。

視察は、校長先生自らのお話で始まり、学力、体力とも全国トップ水準の教育を維持する福井県の学校教育を、簡潔に明るく説明されました。

授業参観はかなり慣れていて特に普段と異なる様子はなく、英語の時間は、担任が普通に行っていました。電子黒板で楽しく英語の発声を学んでいました。

順化小学校の児童数は最大1400人超が現在は142名となり、大半の空き教室を利用した地域の公民館機能が展開されていました。また図書室が大変充実し、子どもたちがいつでも好きな本をゆつくり読める環境は学力

向上に役立つと感じました。ドーナツ減少で児童数が激減した順化小学校は、地域の中心拠点として大きな役割を果たしていました。

体力向上の取組みは教育委員会に体育の指導主事を配置。指導主事から体力向上の取組みの説明を聞き、運動部活動の指導者研修会の具体的な意見をまとめた資料を頂きました。

保幼小中の一貫教育の実施実態について、委員の関心は高かったが詳しい説明は聞けずでした。児童数は本町もいすれ減少する時代が想定されます。その備えのために学校施設を多目的に活用する柔軟な発想が重要である事も学びました。



順化小学校の授業風景

### ■滋賀県湖南市役所

先進的な発達支援システムを研修しました。湖南市発達支援システムは、支援の必要な人に対し乳幼児期から学齢期、就労期まで保健・福祉・医療・教育・就労の関係機関の横の連携による支援を提供するシステムです。

発達支援室のシステムの中核は健康福祉部内で、専門的支援の場は石部保健センター・三雲小・水戸小・菩提寺小の4か所設置。メンバーは8人。

将来を見据えた支援は保健・福祉・教育・就労の連携。就労を目指した支援の継続性。自立をめざし将来納税者になってもらう事が狙いとのことでした。

「チャンスワークこなん」はハローワークの職業相談コーナーとして障がい者と福祉施策を受けている人を対象に、求人情報の提供や職業相談および職業紹介を行う施設です。

発達支援システムは大変先進的であり、視察研修は平成22年から4年間で150自

治体970名が訪れたそうです。

乳幼児期から就労期まで一貫して発達支援のシステムを全国に先駆けて立ち上げ、取り組みを続けてきた湖南市。ここで積み重ねられてきた「発達支援をつなぐ地域の仕組みづくり」の全体像の研修は、今後の取り組むべき課題を抱えたままの研修でした。

(委員長 箕浦克巳)



湖南市障がい者就労支援センター

## 開かれた議会をめざして、 駐在員・自治会長との懇談会を開催

7月31日(木)午後、駐在員会議終了後、役場庁舎4階全員協議会室にて開催しました。昨年に引き続き2回目となりました。

まず、柘植議長のあいさつは、情報発信や共有化を図るために、議会の取組みとして、具体例を通して一般質問の録画配信や議会報告会の実施(2回)。さらには教育委員会や商工会との懇談会の実施など、活性化促進に議員一同努力していることを説明しました。



### ◆懇談会の主な内容

#### ■自治会活動の中で感じたこと

◎区長任期が一年である。そこで、区会運営のアドバイスを

- ・地区により、いきなりの役員もいるため、定型業務のガイドラインの整備も必要と思う。
- ・役場職員を配属するなど地区担当制を設けている自治体もある。
- ・総入れ替え方式や半分入れ替え方式の地区もある。
- ・役員の選出方法も地区によって違いがある。
- ・提携業務の担当は事務員や評議員が行う地区もある。

#### ■さらに推進するために

◎自治会への加入率低下対策は

- ・アパートやマンション建設時、全戸自治会加入を条件としている。
- ・アパートの場合は大家さんがまとめて自治会費納入を定めている。

◎今後の自治会運営とは

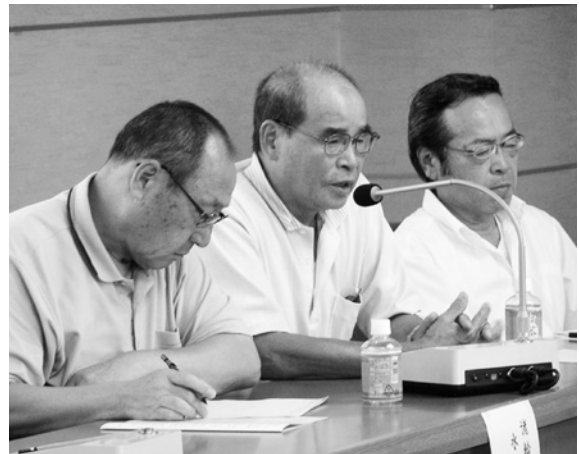
- ・自治基本条例が施行され、町民の義務として地域活動が明記されている。
- ・子ども会や老人クラブの加入も含め、意識改革が必要と思う。

#### ■将来ビジョンと町の発展

- ・鉄道のないまちの発展は公共交通網がキーポイント。
- ・教育環境の充実や子育てしやすく、住みよい町のイメージづくり。

#### ■要望

- ・縦割り行政の在り方が気になる。
- ・街灯が少なく、町が暗い。
- ・住宅のまちとして、社会保障や福祉面からの意見提案をしやすくしてほしい。



# 東郷町商工会と

## 初めての懇談会を開催

平成26年7月18日、総務経済委員会は東郷町商工会で、同商工会との懇談会を行いました。商工会からは会長をはじめ4人、委員会からは全委員8人が参加しました。

昨年11月、商工会より「商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充」に付いての陳情書をいただいていた経緯があり、今年度の委員会では是非これに対する懇談会を実施しようとの目的で、商工会のご賛同を得て開催しました。会長からの商工会の現況説明の概略は、会員数は700ほどあるが、県の資料では町内には事業者は1300ほどある。会員数が事業者の50%を切る（現在53%前後）県からの補助金がカットされる。店舗を持たないインターネットを利用する事業者が増え、会員の割合の維持が難しい。会員の多くは零細業者なので、厳しい経営状態にある。

また、要望としては、官公需発注の受注機会は、地元商工会員を

最優先とし、確保・拡大など、特段の配慮を望むと、町内の河川敷、道路の草刈を例にあげて熱く語られました。

委員から多くの質問がありましたが、丁寧な回答をいただき大変有意義な懇談会でした。伺った貴重なお話やご要望をどのように、委員会活動に生かしていくかを今後の研究課題としてまいります。

(総務経済委員長 若松 孝行)



商工会役員さんとの懇談会

## 第23回 全国市町村交流レガッタ大潟大会 議会議員シニアの部4位入賞と健闘

9月20日・21日の2日間、豊かな田園風景が望める秋田県大潟村漕艇場において、全国ボート場所在市町村加盟25市町村の代表117クルーが参加して「第23回全国市町村交流レガッタ 大潟大会」が開催されました。八郎潟の幹線排水路を利用してできた海拔マイナス6.3mのコースで、8種目の各白熱したレースが繰り広げられました。東郷町は7種目の競漕にエントリー、議会は議会議員シニアの部に出場して4位入賞と健闘、熟年男子の部においては、2年連続優勝の輝かしい成績を収め「水と緑とボートのまち東郷町」を全国に発信することが出来ました。また、大会前に大潟村役場で議長懇話会・大会会場では全国から集まったボート仲間と意見交換・親睦の輪を広げることができ有意義な大会参加となりました。



議会議員シニアの部  
全員の総力で4位入賞しました。



東郷町議会クルー  
残り100m最後のスパートです。(後方が東郷)

# 議員の活動

11月

- 6(木) 東郷町戦没者追悼式  
文教民生委員会（社協との意見交換会）
- 7(金) 議会報告会（いこまい館）
- 8(土) 文化産業まつり（文化の部発表会）
- 9(日) 文化産業まつり  
（社会福祉大会・青少年健全育成・体育協会）表彰式
- 11(火) 総務経済委員会県内研修
- 18(火) 議会運営委員会・全体会議
- 19(水) 議会運営委員会県内研修
- 23(日) 東郷町総合防災訓練（東郷小学校）
- 26(水) 日東衛生組合臨時会  
尾三衛生組合臨時会  
尾三消防組合臨時会  
愛知中部水道企業団臨時会
- 28(金) 議会運営委員会  
12月定例会開会日

## 第3回 議会報告会 開催

平成26年11月7日（金）

午後7時開始

会場／いこまい館 多目的ホール

## 新議員所属委員会

小島 三幸（文教民生委員会）

石井 ゆみ（総務経済委員会）

前田 沙織（文教民生委員会）

## しない!させない!求めない!

### 政治家の寄付行為は禁止

- お祭りへの寄付行為
- 病気見舞い
- 葬式の花輪、供花
- 開店祝い、落成式の花輪
- 町内会の催し物へ差し入れ



## みなさまのご意見大募集!!

議会の果たすべく役割を十分に踏まえ、住民のためにある議会であるよう務めてまいります。



- 議会に質問（特に子どもからの質問大歓迎）
- 議会にもの申す！（議会へのご意見・ご要望）
- 傍聴レポート（議場のお気づきをお聞かせください）

など、ご意見・ご質問をお寄せください。

【宛先】 議会だより編集特別委員会 〒470-0198 愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地 TEL.0561-38-3111

委員長  
副委員長

議会だより編集委員

加藤 宏明  
星野 靖江  
若松 孝行  
山田 達郎  
加藤 啓二  
石川 正  
石井 ゆみ  
前田 沙織

本会議は10時開始、  
各委員会は9時開始です。  
ぜひ、傍聴にお越しください。

22日	本会議（最終日）
16日	委員会 予備日
15日	文教民生委員会
12日	総務経済委員会
10日	本会議 予備日
9日	本会議 （一般質問、議案質疑）
8日	〃
12月5日	本会議（一般質問）
28日	本会議（議案上程）
11月14日	請願受付 午後3時まで

12月定例会の日程(予定)